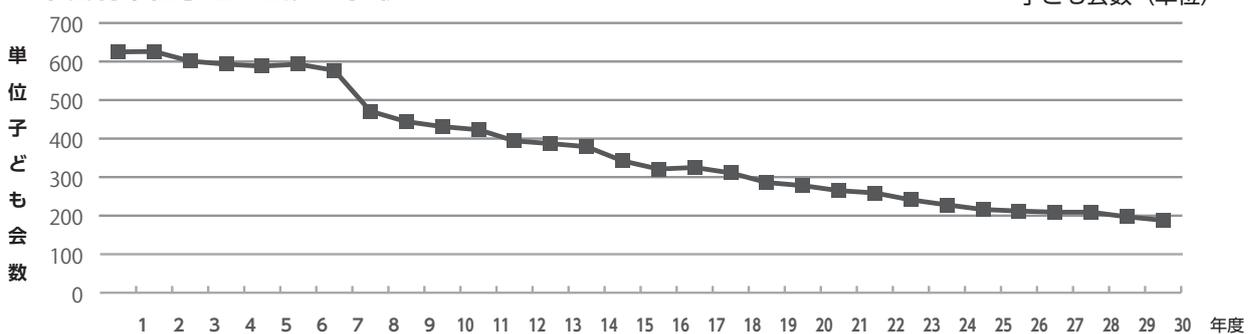


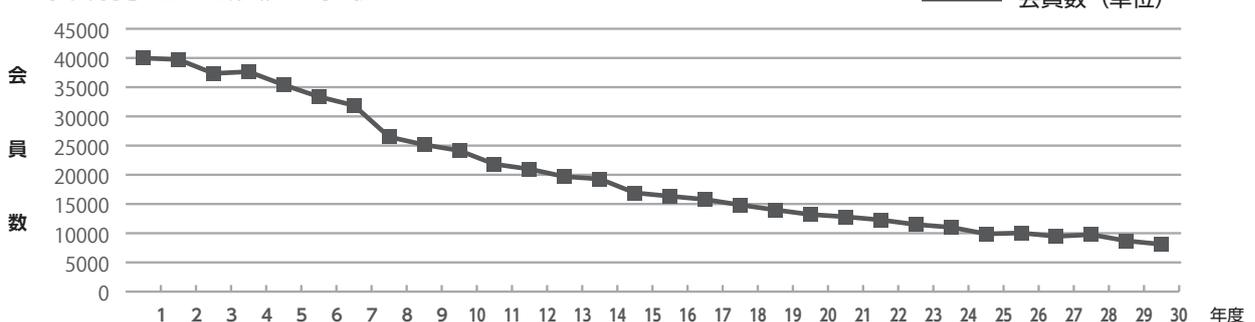
## 子ども会数および会員数の推移

年度	神戸市（人）			子ども会（人）						小・中会員 /全小中生 (2)/(1)%	子ども会数 (単位)
	小学生	中学生	計（1）	就学前	小学生	中学生	小・中計（2）	会員数 (就+小+中)	育成者等		
平 1	105,882	59,283	165,165	4,995	30,808	4,174	34,982	39,977	9,122	21.2	625
平 2	104,371	56,299	160,670	4,924	31,028	3,785	34,813	39,737	8,837	21.7	626
平 3	102,691	54,146	156,837	4,389	29,511	3,456	32,967	37,356	8,369	21.0	601
平 4	101,138	52,279	153,417	4,613	29,683	3,354	33,037	37,650	8,646	21.5	593
平 5	101,284	50,174	151,458	4,248	27,936	3,204	31,140	35,388	8,299	20.6	588
平 6	99,803	48,426	148,229	3,907	26,238	3,224	29,462	33,369	8,042	19.9	593
平 7	93,285	46,670	139,955	3,550	24,897	3,436	28,333	31,883	6,778	20.2	577
平 8	90,871	46,995	137,866	2,851	21,008	2,622	23,630	26,481	6,104	17.1	471
平 9	88,001	46,934	134,935	2,877	19,833	2,437	22,270	25,147	5,840	16.5	444
平 10	85,248	45,730	130,978	2,624	19,207	2,320	21,527	24,151	5,184	16.4	431
平 11	83,087	44,037	127,124	2,450	17,274	2,097	19,371	21,821	4,907	15.2	423
平 12	81,160	42,468	123,628	2,445	16,423	2,114	18,537	20,982	4,817	15.0	394
平 13	80,293	41,135	121,428	2,193	15,412	2,079	17,491	19,684	4,396	14.4	387
平 14	79,439	39,621	119,060	2,148	15,071	2,069	17,140	19,288	4,223	14.4	379
平 15	79,148	38,380	117,528	2,261	12,746	1,900	14,646	16,907	4,238	12.5	342
平 16	79,122	37,163	116,285	2,403	12,213	1,721	13,934	16,337	4,396	12.0	341
平 17	79,497	36,749	116,246	2,219	11,882	1,678	13,560	15,779	3,981	11.7	325
平 18	80,200	36,226	116,426	2,084	11,180	1,579	12,759	14,843	4,059	11.0	311
平 19	79,958	36,291	116,249	1,948	10,491	1,551	12,042	13,990	4,107	10.4	286
平 20	80,228	35,852	116,080	1,609	10,184	1,409	11,593	13,202	4,103	10.0	278
平 21	80,443	35,879	116,322	1,444	9,879	1,488	11,367	12,811	4,055	9.8	265
平 22	80,136	35,728	115,864	1,440	9,395	1,444	10,839	12,279	4,047	9.4	259
平 23	79,156	36,453	115,609	1,389	8,730	1,366	10,096	11,485	3,975	8.7	241
平 24	78,204	36,877	115,081	1,369	8,281	1,371	9,652	11,021	3,746	8.4	228
平 25	77,554	36,895	114,449	1,128	7,423	1,338	8,761	9,889	3,459	7.7	216
平 26	77,103	36,317	113,420	1,147	7,498	1,393	8,891	10,038	3,510	7.8	212
平 27	76,560	36,064	112,624	1,219	7,010	1,234	8,244	9,463	3,241	7.3	209
平 28	75,607	35,440	111,047	1,424	7,083	1,251	8,334	9,758	3,404	7.5	209
平 29	75,440	34,976	110,416	1,315	6,255	1,121	7,376	8,691	3,191	6.7	197
平 30	75,361	34,190	109,551	1,193	5,874	1,038	6,912	8,105	3,005	6.3	188

■年度別単位子ども会数の推移



■年度別子ども会員数の推移



振り返り

## ◎市子連結成50周年記念イベント

H26年には8月24日に「こども向けイベント」(こべっこホール)、9月6日に「50周年記念式典」(ラッセホール)を開催し、一連の市子連結成50周年記念イベントが盛大に行われた。昭和39年10月1日に神戸市子ども会連合会が発足して以来50年間、幾多の方の善意により支えられてきた子ども会活動を記念する式典であった。

また、各区子連においてもこの年に前後して50周年を迎えた区が多く、それぞれ50周年記念イベント・式典が行われ記念誌が発刊された。市子連や各区子連を支えてきた永年の功労者への表彰や式典招待が行われた。

発足当時の単位子ども会数は168単位、会員数13,091名であり、ピーク時の昭和55年には、単位子ども会数623単位、会員数58,790名の大組織であり、子ども会加入率は31.8%台で、熱心な若い役員も多く活動していた。



## ◎市子連の通年行事

「KOBEファミリーフェスティバル」と「親子里山体験」の2大事業を中心に、各専門部会が様々な行事を実施している。

また、毎年1月には市子連中央会議(H30年度からは市子連表彰式)が開催され、各専門部会等による活動を行っており、全国的活動としては、指定都市子ども会育成研究協議会・全子連総会や中央会議への参加、ジュニアリーダー大会への派遣をはじめ、被災地子ども会への支援活動等も行っている。

## ○KOBEファミリーフェスティバルの開催

毎年7月に開催されるKOBEファミリーフェスティバルは、ハーバーランドのスペースシアターとこべっこランドを会場として、毎回4,000人を超える親子連れの参加があり、市内最大の子ども向けイベントとなっている。子どもゆめ基金の助成を受け、子ども会会員に限らず、一般の親子も楽しめる一大人気イベントである。



○親子里山体験事業(年5回：①田植え・②自然観察・③かかし作り・④稲刈り・⑤収穫祭)開催

年間を通して稲作や自然観察を親子で体験できる事業として人気があり、例年100人を超える参加があり盛況である。地元関係者にはお世話になっている。親子里山体験事業は、かつては子どもゆめ基金の助成をいただいていたが、現在は市社協の唐川基金からの助成を受けて実施している。



### ◎専門部会

専門部会には、育成部会・広報部会・文化部会・体育部会・リーダー部会がある。

### ○育成部会

小学校高学年を対象にサブリーダー研修を行っており、年3回のプログラムである(①オリエンテーション、②キャンプ、③デイキャンプや体験学習)。3回のうち最大のイベントは②9月に開催される1泊キャンプである。H26は兔和野高原野外教育センター、H27は西はりま天文台、H28は嬉野台生涯教育センター、H29は六甲山(フィールドアスレチック・六甲YMCA)、H30は「国立淡路青少年交流の家」で行った。

①オリエンテーションでは、リーダーの果たすべき役割や、アイスブレイキングなどゲームの手法と目的など基本的なことを学ぶ。③デイキャンプや体験学習は、これまで修得したことをおさらいし修了時にはサブリーダーの認定証が参加者全員に授与される。



### ○広報部会

広報誌(年3回)の発行(主要行事の取材・原稿作成・編集まで)、中央会議における報告、その他の広報活動を行っている。

広報誌の発行事業として、毎年10月に「こうべっこだより」(4-9月の行事を掲載)、毎年1月の中央会議開催にあわせ「こうべの子ども会」(9~12月の行事を掲載)を発行しており、H24年度創刊

の「べっこちゃんかわら版」を毎年4月に発行して、1-3月の事業や年間計画・役員等の早期掲載をしている。

本誌の55周年記念誌「あじさい」も、広報部が中心となって編集を行っている。ホームページによる広報や広報誌づくりの研修活動を行ったこともある。



## ○文化部会

「歴史ウォーク」と「絵画コンクール」を開始実施している。

・歴史ウォーク： 子どもたちにわが町を深く知り愛着を持ってもらうことを目的に、各区の歴史的な名所等をめぐりながら毎年6月に実施されている。H26は「東灘の古墳と酒蔵巡り」、H27は「歴史と別荘地～須磨を歩く」、H28は「潮風と古墳～垂水」、H29は「垂水を歩く」、H30は「灘の酒蔵の道」を実施した。リーダーたちによるルート上の史跡の解説もありビンゴ等のゲームも盛り込んで工夫をこらしたイベント内容となっている。

・絵画コンクール： 毎年11月に作品テーマを設定し、小中学生の子ども会員から絵画作品を募集する。優秀作品は1月の中央会議（絵画コンクール表彰式）で表彰を行い、優秀作品はこべっこランド1階や花時計ギャラリー等でも展示される。各年のテーマは、H26は「海が見える風景」、H27は「はたらく人」、H28は「未来のまち」、H29は「みなと」、H30は「好きなスポーツ」であった。H29は開港150周年記念として「みなと」をテーマに神戸港「かもめりあ」で写生会も行った。



## ○体育部会

スポーツ大会を年2回(11月・2月)開催している。これまでは「ソフトボール大会」「バレーボール大会」「ドッジボール大会」などを開催していたが、参加チーム数の減少などが引き金となって、別の種目に切り替えている。そして近年は体育部会として誰もが楽しめるニュースポーツの普及・体験に力を入れている。「ドッジビー」は一人でも参加でき、「距離と的当ての2種目」で少しの練習でもコツをつかむと楽しむことができる。また「キンボール大会」は関西国際大学の学生の指導をいただき、1チーム4人制で、気軽に参加できる種目で開催6年目になる。2大会ともに参加単位、チーム数も増えてきて盛況である。子どもたちが手軽に参加できる「ニュースポーツ」のすそ野を広げているところである。



## ○リーダープロジェクト、及び、リーダー部会

リーダープロジェクトは、サブリーダーが更にジュニアリーダーやシニアリーダーとして成長し資質向上していくための育成部門として、Step Up研修を通年で実施するなどの役割りを果たしてきたが、専門部会の一つとしての位置づけがされていなかったため、30年度に、リーダープロジェクトを発展的に解消する形で、リーダー部会が専門部会の一つとして正式に組織化されることになってからは、毎月の常任理事会にリーダーの代表が出席し、市子連の運営にも携っている。

これからも全子連のStep Up研修プログラムに基づいたリーダーの資質向上研修を定期的に行う形で実施し、リーダーにふさわしい人材を育成していく。



## 今後の課題

### ◎子ども会の活性化・加入率向上策の検討

地域コミュニティの希薄化や、子どもの遊び方の変遷、少子化の波もあり、平成30年度の子どもの会の現状は、単位子ども会数118単位、会員数11,110名となり、子ども会加入率は6%台となっている。(本誌9頁「子ども会数及び子ども会員数の推移」資料参照)

少子化に伴い、子ども会員の絶対数が少なくなるのは必然ともいえる。しかし、問題は加入率の低迷である。平成元年には全小中学生の20%台だったが、現在は更に低下し7%程度の加入率に落ち込んでしまっている。永年の活性化の努力が十分な効果を挙げられていない数字となっている。

かねてから、H12年度に、市内12万人の小中学生に対し子ども会員2万人となったのを機に、市子連として加入率の減少に危機感を覚え、子ども会の活性化を緊急課題として打ち出している。「活性化調査研究委員会」を設けアンケート調査を実施し、その調査結果をもとに「活性化(魅力化)委員会」を立ち上げた。

また、H17年度からは、単位子ども会の活動をリーダーたちが支援する「お助けマン」制度を立上げ、「むっちゃ楽しい子ども会」をキャッチフレーズにして子ども会活動の魅力化を進め、H19～20年度には「CO2 10,000,000g削減プロジェクト」に協賛し市子連会員全体による環境保全活動にも取り組んできた。

これまでも市子連として子ども会の活性化の必要性を検討し、例えば次のようないくつかの提案がなされてきた。

① リーダーの育成と組織化。サブリーダーを多く育成している割に、ジュニアリーダーやシニアリーダーと続けて活動するリーダーが少ない現状があるが、もっと多くの先輩リーダーが後輩を育成する流れを作る必要がある。それが、子ども自身による子ども会活動を築くことにつながる。

サブリーダー研修は小学校高学年が対象であるが、中・高生のジュニアリーダー、大学以上のシニアリーダーへ進んでもリーダーとして後輩の面倒を見て活躍してくれる人材の確保・組織化の流れがまだ十分ではない。子どもによる子ども会の運営には、子どものリーダーが子ども会の中で活躍してくれることが重要であり、多くのリーダーが育成され組織化されて活動できる子ども会を作ることが今後の大きな課題である。

- ② 単位子ども会の活性化支援。そのための支援やリーダー派遣。リーダーの活躍の場を増やす。
- ③ 地域での子ども会への協力要請をさらに進める。
- ④ 学校との協力関係強化。個別に学校と子ども会の良好な関係を築いている地域もあるが、もっと全体として学校と子ども会の協力体制を作ることが大切である。  
全国的に見て、行政として子ども会を学校の系列においている市町とそうでないところとは、子ども会の加入率に大きな違いがある。教育委員会が子ども会を所管している市では100%近い子ども会加入率がある一方では、神戸市のように、そうでない自治体は加入率が低いところが多い。  
いずれの組織体制がとられるにせよ、子ども会の組織率向上や活性化のために学校との緊密な連携はより強めていくことが重要である。
- ⑤ 広報活動の充実。社会一般の子ども会認知度をもっと向上させる必要がある。ホームページによる広報は実施しており、より時代に即応したSNS活用のタイムリーな広報等も考えられるが、利用する若い親や子どもたちへの活用方法やモラルの研修が不可欠であり、検討が必要である。  
子ども会員家族向けの広報だけでなく、未加入者を含む一般社会に向けた広報活動で、社会一般の子ども会の認知度を高め、子ども会の加入促進にも役立つ広報にも重点的に取り組まなければならない。
- ⑥ 安全対策。KYT（危険予知トレーニング）研修の強化。せっかくの活動を台無しにしない危機管理として、野外活動等の安全性を高めるため、KYTをリーダーや行事運営者に対し行うようにしているが、これをより充実拡大する必要がある。
- ⑦ 単位子ども会解散防止対策。せっかく頑張っている単位子ども会が解散に追い込まれないよう、資金面・人材面・活動支援など、区子連・市子連の支援も必要である。
- ⑧ 新子ども会結成支援事業。特に子ども数の多い子ども会未結成地域に子ども会新設の重点支援が必要と思われる。
- ⑨ 子ども会未結成地域の子ども会加入希望者の受け入れ。市子連・区子連などによる受け皿対策が必要である。
- ⑩ 地域社会・自治会・学校など、社会全体の子ども会の認知度向上・支援の空気づくりの更なる推進。など、多くの対策の提案がある。

しかしいまだ、市子連として努力・対策が十分な実施と効果を挙げられていないと考えられる。

子ども会と、地域・行政・学校・マスコミ等の協力がないと限界があり、全体で取り組むべき大きな課題を含んでいる。

また、育成されたリーダーが子ども会活動で実際に表舞台に立って活動できるよう、単位子ども会・区子連・市子連の活動とも連携を深め、リーダーが子どもたちのあこがれの先輩として活動できる土壌を作っていかなければならない。

子ども会行事でのリーダーの活躍の場を増やし、市子連全体でのリーダー部が要となっていく活躍が今後期待される。今後のリーダー組織の拡大とリーダーたちの活躍は、子ども会の未来への希望である。

実体験に乏しい現在の子どもたちの育成環境を観ると、子どもの集団遊び体験を通して社会性等を学ぶ必要性は高まっており、学校教育でも「異年齢集団での社会性の育成」は大きなテーマになっている。「異年齢集団での遊びを通じた人との関わりの中で自然に社会性を身に着ける」という働きを持つ子ども会活動への社会的必要性は、ますます高まっている。

今こそ、子ども会及び行政・学校・地域も含めた子ども育成のための関係者が総力を上げて、子ども会の活性化と加入率の増加について取り組み、未来の宝である子どもたちの育成に立ち上がるべき時ではないだろうか。

## 東灘区子ども会連合会



会 長  
竹 中 正 雄

## 55周年に思う

神戸市子ども会連合会結成55周年おめでとうございます。

東灘区は山と海に囲まれ、多子高齢化、子どもの割合が多く、公園では元気な声が聞かれます。子ども会の会員数は減少傾向にありますが、会員以外の区民も参加していただける行事を行い多くの方に参加をしていただいています。社会環境はめまぐるしく変化をしていますが、子ども達が生きる喜びをもち、次代の担い手として自覚を抱いて成長するためには子ども会活動の果たす役割は重要だと思いますので、今後も文教のまち東灘で地道な努力を重ね、子ども達の健全育成に力を費やし努力してまいります。

## 神戸市

Kobe City



区のあらし

面積：34.02km<sup>2</sup>

人口：213,963人

区の花：梅

東灘区は、神戸市の市街地の東端に位置し、海と山に囲まれた住吉川が流れる自然あふれる環境で、子育て世代が多いまちです。多くの文化・教育施設に恵まれた地域で、伝統文化であるだんじりが受け継がれています。また、日本有数の酒処でもあります。

## ◆東灘区子ども会連合会のおいたち

発足年月日：昭和40年4月1日

## 区子連活動のあらし

東灘区では、昭和30年頃より地域毎に子ども会が（深江）（岡本）（魚崎）（御影）の地区で発足して子ども見守りの形で行なわれておりましたが、昭和40年に市子連が発足して組織化しました。

## 主な行事

- ・うはらまつり（東灘区区民まつり）出店
- ・学童図画書道大会
- ・東灘区子ども会運動会
- ・リーダー研修会（宿泊研修）
- ・育成者研修会 等

## 東灘区

### ◆ 過去5年間の東灘区子ども会連合会基本データ

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
単位子ども会数	17	17	16	16	16
会員数および 育成者・指導者数	1,667	1,536	1,564	1,534	1,329
区の小中学生数	17,820	17,660	17,577	17,438	17,319

### ◆ 単位子ども会一覧

単位子ども会名	校区・地域	単位子ども会名	校区・地域
梅 林	岡本6丁目、岡本梅林住宅地区	魚崎南町3丁目	魚崎南町3丁目
魚 崎	魚崎南町7丁目	深江南町2丁目	深江南町2丁目
魚 崎 川 西	魚崎西町1～2丁目	ファイブ・フィッシュ・クラブ	魚崎南町5丁目
フレンドリー	魚崎西町3～4丁目	魚崎南町東部	魚崎南町1～2丁目
ふ た ば	東灘小学校区	横 屋	魚崎北町
魚 崎 み どり	魚崎南町、魚崎北町、魚崎中町	呉 田 地 区	住吉南町1～5丁目、 住吉宮町5丁目
住 吉 台	住吉台6～8番地、11番地	御影ファイターズ	御影中町地区その近隣
郡 華	御影地区	はまいしやキッズ	御影石町、御影塚町

◆ 年間の各部の主な活動

広報部 広報誌「みんな集れ東灘っ子」の発行(年1回)

区子連の行事の紹介や、報告、各単位の紹介をしています。



## 東灘区

### 体育部 東灘区子ども運動会(10月)

参加者 500～600人

魚崎中学校(ハート・プロジェクト)に依頼し、中学生の応援を受け、指導者・育成者みんなの手作り運動会です。



### 文化部 学童図画書道大会(8月)

昭和47年より実施。作品は子ども会、書道教室、絵画教室、区民より、700～800点の応募があります。区長賞、副区長賞、社会福祉協議会理事長賞、青少年育成協議会会長賞、神戸まつり協賛会会長賞、子ども会会長賞等の表彰式を御影公会堂で行なっています。その後、表彰作品は御影市場内旨水館にて、約1週間展示しています。

